新しい市長のもと「よいものはよい」「悪いものは悪い」

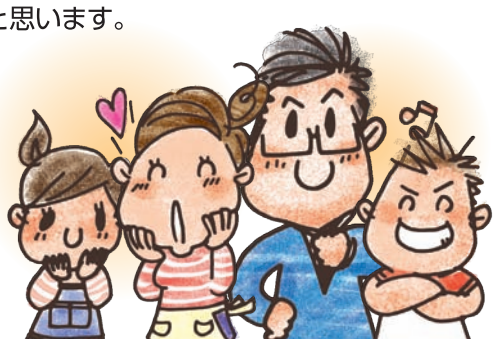
日本共産党

新市長のもとで松戸市政がスタートしました。日本共産党は、福祉、教育、子育てなど市民の暮らし第一に、さらに市立病院問題でも、市民の立場に立ち、「よいものはよい」、「悪いものは悪い」の姿勢でのぞみます。

新しい市政の「開拓者」として

新市長は市長選挙で55のマニフェストを掲げています。その中には、こども医療費の小学校6年生までの無料化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げ、住民投票条例、公契約条例の制定など、これまで日本共産党が実現を求め続けてきた課題が盛り込まれています。これらの公約については、新市長と力を合わせ「よいものはよい」という立場で実現していきたいと思います。

ただし、新市長は市議のころ、子どもの医療費助成の拡大や、国保料の引き下げを求める市民の陳情に「反対」の立場をとり続けています。「選挙だけのマニフェスト」にならないよう求めていきます。



問われる新市長の姿勢

一方、就任後の新市長の姿勢について、問題を指摘する声が少なくありません。

新市長の7月8日のブログには、初登庁後のあいさつ回りの際、「私の話を聞かない課が１つありました。民間企業で社長が就任あいさつに来た時、机に向ったままで、話を聞いていたら、どうなりますか？私にとって信じられませんでした」と書かれています。

市民の求める「民間の感覚」とはこういうことなのでしょうか。社長と従業員、双方の謙虚さと相互理解が大切だと思います。

また7月24日付の新聞各紙に「副市長ら5人の辞職願を受理」という記事が掲載されました。いずれも、新市立病院問題にたずさわってきた幹部です。これまで市の実務を中心で支えてきた幹部を5人も同時に失えば、今後の市政運営、そして市民生活への影響は避けられません。党市議団は新市長に対し、受理を留保するよう申し入れをおこないました。立場の違いを超えて、松戸市の直面する難局に結束して立ち向かう「柔軟さ」が求められます。

議員定数削減について

新市長は、「市議会議員の定数を1/3程度削減する」としています。確かに「議員も身を削るべき」という声は少なくありません。これは私たち議員が、市民の皆さんが求める水準まで達していないことを示しており、謙虚に受け止めなければなりません。

議員は「市民と市政をつなぐパイプ役」です。そのパイプがつまり気味だからと議員定数を削減してしまえば、パイプは細くなり、やはり市民の声が市政に届かなくなります。

大切なことは、定数を減らすことではなく、しっかり市民のために働く議員をなるべく多く選挙で議会に送り、パイプを太くすることではないでしょうか。

新市立病院問題について

新市長は、現在600床の市立病院を、450床に減らしてでも、現地に建て替えるという公約を掲げました。

「新市立病院問題」については、市民の声をよく聞く姿勢が大切です。川井前市長は、地域住民の声を聞かずに東松戸への移転を「強行」しようとしましたが、もし新市長が東部地域をはじめとした市民の声に聞く耳を持たず、現地建て替えに突き進むなら、それは川井前市長の「強行」と同じことになりかねません。

小児・周産期・救急などの医療科目は、民間病院が引き受けづらい不採算分野であり、日本共産党は、こうした医療を提供することは自治体病院が果たす重要な役割であると考えています。

市立病院は、600床のベッドの収益で、小児・救急など市民に欠かせない医療を支えてきました。ベッド数を減らすことは病院の収入減に直結しますが、これで小児・周産期・救急医療を財政的に支えることができるのでしょうか。また、そもそも市立病院の存続そのものを心配する声まで上がっています。

現地建て替えの可能性について、外部の専門家はもちろん、住民・現場の医師や看護師などを入れたかたちであらためて検証し、その検証課程・結果を市民にしっかり伝えることは、絶対に必要なことであり、私たち日本共産党の主張でもあります。

ただし、ここで大切なのは、結論ありきで市民に押しつけるのではなく、検証結果をもとに新市立病院の医療内容・規模・場所などを含めて市民とともに考える姿勢です。

新市立病院について市民への情報提供と議論は、市長選を通じてもまだ不十分です。もっと市民に知ってもらい、その上で市民が納得できる計画づくりが急がれます。

6月議会のおもな議案に対する各会派の態度

あなたの気持ちにぴったりな会派・議員は？

2010年6月市議会 主な審査結果一覧表

○：賛成　×：反対　（原案に対しての態度）

※25件中、23件に賛成、2件に反対

		会派	日本共産党				公明党										まつど未来										松政クラブ										市民クラブ							社民新社			無所属			
		結果	中村多賀子	宇津野史行	高橋妙子	高木健	山沢誠	渡邊美喜子	城所正美	飯箸公明	石川龍之	織原正幸	佐藤恵子	松井貞衛	諸角由美	矢部愛子	深山能一	名木浩一	磯崎吉弘	市川恵一	杉山由祥	長谷川満	森下彰司	山口栄作	大川一利		張替勝雄	桜井秀三	木村みね子	小沢暁民	平林俊彦	富沢凡一	中川英孝	大井知敏	岡本和久	澁谷剛士	杉浦正八	田居照康	二階堂剛	谷口薫	工藤鈴子	沢間俊太郎	高橋義雄	中田京	山中啓之
住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定	一般議案	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高校授業料無料化に伴う条例の改正	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情	陳情	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○
農産物輸入自由化路線の見直しを求める陳情	陳情	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
「政治とカネ」の疑惑の徹底解明を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○
地域主権改革推進一括法案に反対する意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
法人税率引き下げと消費税増税に反対する意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
労働者派遣法の抜本改正と、徹底審議を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×
普天間基地の無条件全面返還を求める意見書	意見書	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×

※：議長のため採決には加わらない　〈敬称略〉

あなたのご意見をお寄せください ●●●●・ 電話、FAX、メールのあて先は表面にあります。